



瑞雲

学校だより

昭島市立瑞雲中学校
校長 山下 久也
令和6年2月16日

『3年生全員面接から感じたこと・・・』

副校長 三田 祐太

2学期終わりから校長先生と手分けして3年生全員対象に面接練習を行いました。なぜ面接が必要な受験がない生徒も面接練習をするのかが分からなかった私は進路指導主任に尋ねました。主任は「受験のためだけでなく、中学校を卒業する卒業試験みたいなものです。」と答えました。義務教育を修了し、中学校を卒業することは社会に出ることを意味します。「社会に出た時の礼節を身に付ける、中学校で学んだこと、思い出、成長できたことを自分の言葉で伝えることができるようにして卒業させる。」そのようにとらえました。面接練習は1人15分という短い時間でしたが、中学校時代の楽しかったこと、部活動のこと、勉強のこと、次々にこちらがする質問にどの生徒も真剣に答えていました。質問に受け答えするには今までの自分をよく振り返り、今の自分をよく見つめて考えないと答えられません。

人生は選択の連続です。その時の選択が正しかったかどうかは分からないことが多いです。選択をする時に大切なことは、どれだけ自分で自分のことを考えられるかだと思います。「自分で考えたことに責任をもち、自分が選択した道で充実した生活を送ることができるか。」このことを教えることが学校教育に求められていると感じました。受験に立ち向かう生徒たちを全力で応援しつつ、受験を通じてさらに成長した姿を見ることを楽しみにしています。

全校で3年生を応援しながら、1年生はスキー移動教室・2年生は職場体験、それぞれの学年で体験活動を行っています。体験活動を通して、自分を振り返り、今の自分をよく見つめることができるようになることが目標です。いつの日か来る進路選択のその時のために。

令和5年度もまとめの時期に入ります。4月からの生活がより充実した生活になるよう教職員も一丸となって教育活動に励みます。今年度も最後まで瑞雲中学校へのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

※1・2年生から送られた受験応援メッセージカードです。廊下に掲示されたカードを3年生は嬉しそうに読んでいます。先生たちも祈願しています。ガンバレ!受験生!!



※2月6日の早朝から積雪した学校周辺を地域の方が除雪をしてくださいました。ご自身の自宅周辺よりも先に子どもたちのためにと駆けつけてくださる方もいらっしゃいました。瑞雲中の地域力を感じる瞬間でした。ありがとうございました。

1年生 スキー教室

1月28日（日）から30日（火）にかけて新潟県湯沢町で2泊3日のスキー移動教室が行われました。

初日は雪が降る中の実習で、スキー板を履いて止まるところからでしたが、3日目は全ての班がリフトに乗り、快晴の良い景色を見ながら長い距離を滑り降りてくることができました。何度転んでも立ち上がり、諦めずに頑張る姿を見ることができました。

宿舎では、友達と声をかけ合いながら時間を守ったり、各係の仕事をこなしたりと、友達と協力しながら過ごすことができました。

来年は2年生になり、学校の中心となります。その際に、今回の成功体験を生かして、さらに向上心をもって前向きに生活を送ってほしいと思います。



部活動の表彰

吹奏楽部 第57回東京都中学校アンサンブルコンテスト

管楽八重奏 銀賞

陸上競技部 第62回東京都ロードレース大会

第3位

卓球部 第10ブロック新人卓球大会（女子団体）

第3位

都大会（多摩）

ベスト16



令和5年度児童・生徒及び保護者アンケートによる学校評価の結果について

回答のご協力ありがとうございました。結果は次年度に向けた教育計画の作成時に参考にし、より良い教育活動ができるように努めてまいります。アンケートの結果は学校ホームページに掲載しています。以下のQRからもご覧いただけます。

【生徒アンケート結果】



【保護者アンケート結果】

